



事業実施報告書【講座名：集落活性化の推進（地域リーダーの育成）】（官民一体の未来創造学部）

○日 時：令和元年9月8日（日） 午後1：30～16：00頃

○場 所：北広島町役場 本庁2階会議室

○参加人数：30名

○内 容：第一回「令和時代を生き抜くために必要な地域づくりとは？」

～少子高齢化・人口減少社会」におけるポジティブ思考のススメ～

講師 佐藤 真一氏（（株）バリュー・クリエーション・サービス 代表取締役）

①これから本格化する人口減少社会での“ポジティブ思考”のススメ

平成から令和という時代の転換は“未知”だからこそ面白い！

人口減少社会を前提とした“地域づくり”においては、“人口拡大路線”から決別し、「人口減少＝進化」、人口減少社会は「老若男女フル活躍社会の到来」と捉える覚悟が必要。

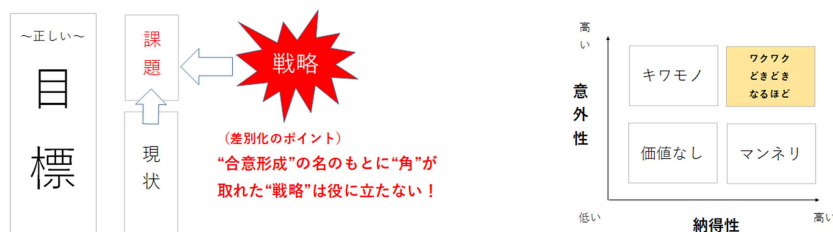
②地域リーダーに必要な考え方（自分サイズの戦略）

住む人の意識で“まち”は形成される

「課題が何か？」と考えるより、目標（在りたい姿）をイメージすることが大切。課題発見型アプローチではやることだらけで、GOALが見えない。人は自らが目標を立てた時に達成意欲が湧いてくる！

目標と課題と戦略の正しい関係

目標（在りたい姿）が明確であれば必ず有効な解決策は存在する（曖昧な目標には最適な行動はない）。また目標は意外性、納得性があるもので「ワクワク、ドキドキ、なるほど」となるような目標でなければならない。



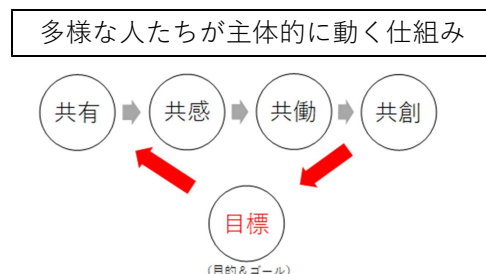
③地域リーダーに必要な考え方（共働による推進）

“まちづくり”は“独り”ではできない。“まちづくり”は“共創”の作業である。

強い組織をつくるためには、目標を強く共有させること（組織論の鉄則）が重要！

目標が共有できなければ、単なる「人」の集まりで、目標と行動が不明瞭 → 「集団」

目標が共有できれば、目標を持った「人」の集まりで、目標と行動のベクトルが一致する → 「組織（チーム）」



【参加者の声】

- 発想、目の付け所が核心を突いている
- 言われることに納得できた。「なるほど」と思えた。大分の話はとても参考になった。物事の筋道を理解できた気がした。
- 講師の先生の話がとても具体的でわかりやすかった。地域の成功事例などまとまったものでなく、ドキドキ・ワクワクするものをつくっていく必要があると感じた。
- 自分の頭がカチカチなのがよくわかりました。共感・共有・課題・目標考えてみます。

【写真】

